床下収納庫 施工説明書　洗面所用・２階用600型（ふた板15mm厚、21mm厚　共通）

※ふた板の厚みが21mmの場合は本書にある[ ]内の内容をご参照願います。

※単位：mm

工　事　店　様　へ

製品を正しく据え付けていただくためにこの説明書をよくお読みください。
施工説明書及び、取扱説明書は紛失や汚れのないよう保管し、工事終了後、必ずお客様へお渡しください。

必ずお守りください

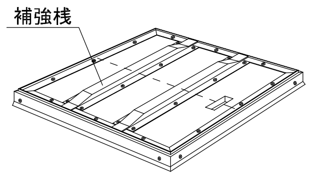
絵表示について　この施工説明書では、製品を正しく据え付けしていただき、お客様への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定されます。

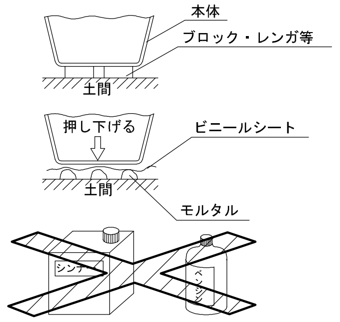
❗ この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 注意

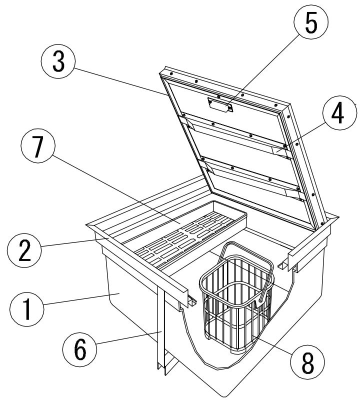
❗ 補強桟は必ずふた板の木目に直角に取り付けてください。
また、ふた板に継ぎ目がある場合には木目の方向に関係なく継ぎ目に直角に補強桟を取り付けてください。
ふた板の強度が不足しますと、開口部に転落してけがをするおそれがあります。



- ブロック、レンガ等で本体底部を受けてください。収納物の重量で本体が変形するおそれがあります。
- モルタルで受ける場合は、ビニールシートなどを間に入れてください。
- 本体は樹脂製ですので火気の使用や溶剤の使用に注意してください。



各部の名称



部品番号	部品名称	洗面所用 補強桟1入	洗面所用 補強桟2入	2階用
①	本体	1	1	1
②	アルミ枠（外枠）	1	1	1
③	アルミ枠（ふた枠）	1	1	1
④	補強桟	1	2	2
⑤	回転取手・取手カバー	1	1	1
⑥	本体吊金具			1

オプション部材

⑦	皿カゴ
⑧	網カゴ

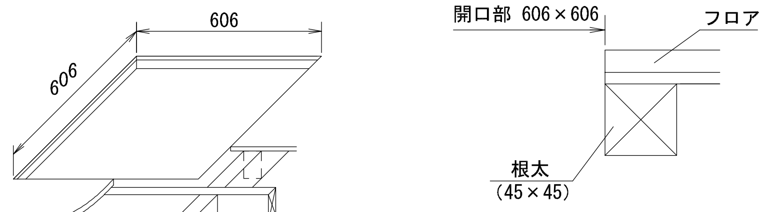
付属部品

部品名称		補強桟 1入	補強桟 2入
袋１ 回転取手用	皿小ねじ M４×１６　[２２]	2	2
袋２ 外枠用	皿タッピングねじ　４×３０	8	8
袋３ ふた枠用	皿小ねじ　　M３×４	2	2
	なべタッピングねじ　４×１２	12	12
袋４ ※1 補強桟用	なべタッピングねじ　４×１２	8	16
※2 本体吊金具用	皿タッピングねじ　４×２０	2	2

※１　補強桟包装ポリ袋内に補強桟１本につき８本同梱されています。
※２　本体吊金具に添付されています。

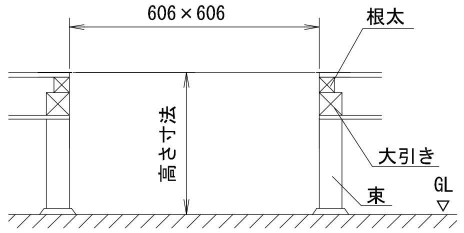
施工方法

１．床に開口部を設け、開口部の周囲に根太を取り付けてください。



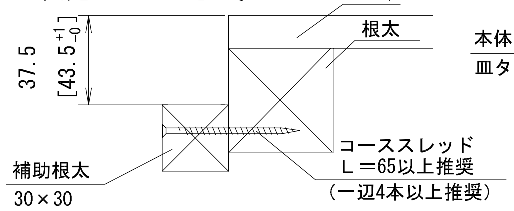
開口まわり断面

２．床面からの有効高さは下記表の寸法以上必要です。
根太は、床面からの荷重に耐えられるよう大引きや束などを新設してください。

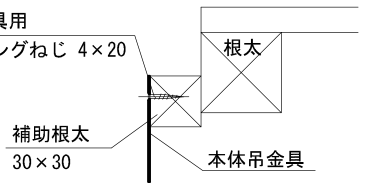


機種名	高さ寸法
洗面所用	310［316］以上
２階用	330［336］以上

３．補助根太（30×30）を床面から下図の位置に取り付けてください。
２階用の場合は、補助根太に本体支持用の本体吊金具を取り付けて下さい。
本体吊金具は補助根太の天面にそろえて、本体吊金具に付属しているビスで固定してください。

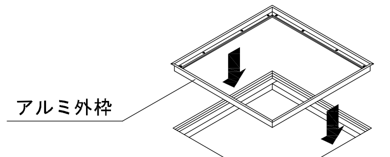


※ 補助根太は現地で調達してください。



２階用の本体吊金具施工図

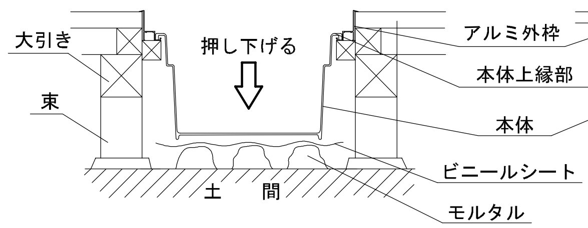
４．アルミ外枠を開口部にはめ込みます。



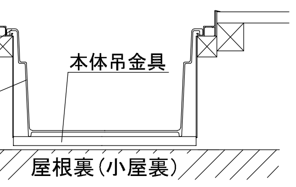
❗ この時点では、まだアルミ外枠をビスで固定しないでください。

５．本体上縁部をアルミ外枠に正しくのせてください。洗面所の場合はブロック、レンガなどで本体底部を受けてください。モルタルで受ける場合は、モルタルが底部に密着しないよう、下図のようにビニールシートなどを間に入れてください。
２階用の場合は３で取り付けた本体吊金具で本体底部を受けてください。

❗ 本体がアルミ枠に正しくのっているか確認してください。
本体が浮いていますとふたを乗せた時、ガタツキが発生します。



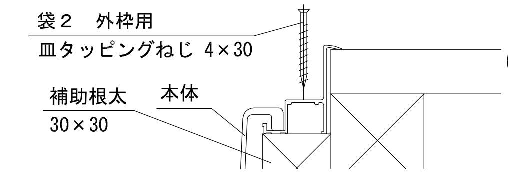
洗面所用の場合の設置



２階用の場合の設置

⚠ 注意　本体がアルミ外枠より浮き上がらない様に押し下げてください。

６．アルミ外枠を附属のビスで固定します。



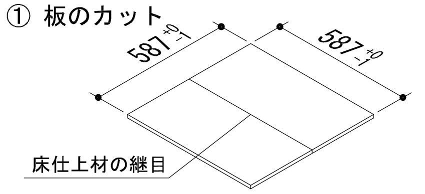
❗ アルミ外枠のビスを締めすぎないでください。アルミ外枠破損の原因となります。

ふたの組立

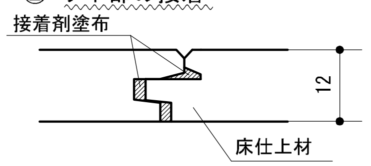
１．ふた板（現場調達）を組み立てます。
ふた板の取り付けは下図のような要領でおこなってください。
ふた板の厚みは14.5[20.5]mm以上が必要です。12mmの床板の場合は、3[9]mmの厚み調整板（合板等｜現場調達）を接着してください。
接着剤は接着面全面に塗布して十分な強度を保つようにしてください。

❗ ふた板の厚みが不足していると不良の原因となりますので上記の厚みになるように必ずふた板の厚みを確保してください。

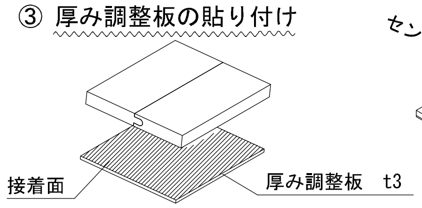
① 板のカット



② サネ部の接着

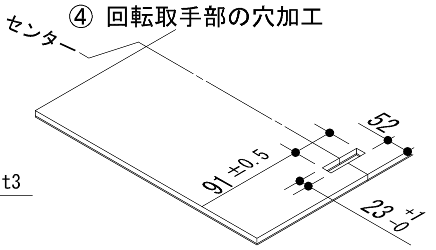


③ 厚み調整板の貼り付け



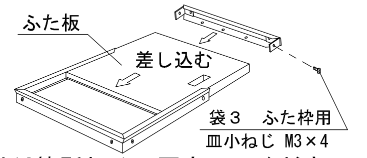
※ヘラ等で全面に均一に塗布する。

④ 回転取手部の穴加工

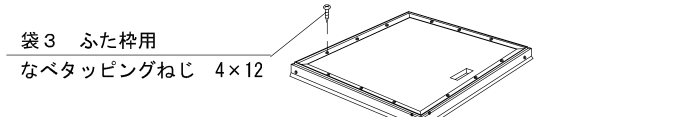


❗ フローリングのサネ部及び蓋板と厚み調整板の接着は確実に行って下さい。接着不良の場合、音鳴りの原因となります。

２．ふた板を組立てます。

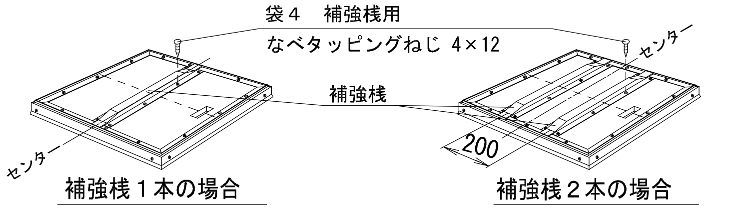


３．枠組みが終わったら、ふた板裏面より12箇所ねじで固定してください。



４．補強桟をふた裏面に取り付けます。

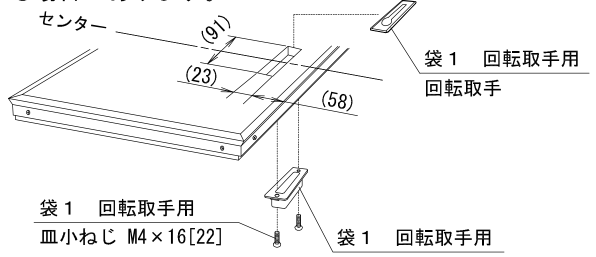
❗ ふた板に継ぎ目のある場合には、図のように継ぎ目に対して直角に補強桟を取り付けてください。



補強桟１本の場合　　補強桟２本の場合

５．最後に、回転取手をねじで固定します。

❗ 手回しドライバーで固定してください。電動ドライバーの場合、破損する場合があります。



お願い
本施工説明書及び同梱の取扱説明書は、施主様にお渡しください。